

令和元年度 11月補正予算の概要

令和元年11月20日

1 予算規模（一般会計）

補正額 1,054百万円（平成30年度11月補正 1,950百万円）

補正後 353,277百万円（前年度同期 368,469百万円）

補正前 352,223百万円

財源	国庫支出金	423百万円、	県債	▲760百万円
	寄附金	80百万円、	地方交付税	1,236百万円
	繰越金	75百万円		

2 主な内容

本年10月に発生した台風19号で被災した農林・土木施設の復旧と機能回復を図るとともに、大型台風など大規模災害に備えた水位計の設置や、企業の地域防災に貢献する取組への支援など、本県の防災力向上を推進するための取組を進める。

また、上海からの国際定期便就航等によるインバウンド多角化を推進するための取組や、中心市街地の交流機能の強化につながる拠点整備に対する支援、県中西部を中心に発生しているナラ枯れの重点対策などを行う。

3 主な事業

○台風19号災害からの復旧等と今後の防災対策の推進（計459,271千円）

- ・建設災害復旧費 60,000千円
台風19号により被災した県が管理する道路の復旧を行う。（技術企画課）
- ・港湾災害復旧費 250,000千円
鳥取港において、台風19号により航路へ堆積した土砂の浚渫を行う。（空港港湾課）
- ・耕地災害復旧事業 24,000千円
台風19号により被災した農地及び農業用施設の復旧を行う。（農地・水保全課）
- ・林道施設災害復旧事業 24,107千円
台風19号により被災した県及び市町が管理する林道施設の復旧を行う。（県産材・林産振興課）
- ・定置網漁業令和元年台風19号被害対策事業 1,664千円
台風19号により破損等の被害を受けた定置網の修繕に対して助成する。（水産課）
- ・鳥取県中小企業災害対応力強化支援事業 1,000千円
BCP（事業継続計画）に基づき、企業が自社の施設や備品等を活用して実施する地域防災力向上の取組に対して助成を行う。（商工政策課）

- ・河川情報基盤整備緊急対策事業 18,500千円
台風19号で発生した大規模河川の支川でのバックウォーターによる氾濫などを踏まえ、県内支川の浸水リスクの高い箇所等に、住民が適切な危険判断を行うための水位計と量水標を増設する。(河川課)
- ・河川調査費 (R2債務負担行為 5,000千円)
洪水予報河川である由良川及びその支川において、満潮時の海水の逆流による水位の上昇等も踏まえた危険情報の提供ができるよう、流量観測を行う。(河川課)
- ・樹木伐採・河道掘削等緊急対策事業 (R2債務負担行為 234,000千円)
洪水氾濫を防止するため、緊急的に対応が必要な箇所の樹木伐採・河道掘削を実施する。(河川課)
- ・令和元年台風19号被災自治体ふるさと納税代行事業 80,000千円
台風19号で被災した宮城県及び福島県の寄附金受領証明書作成等の事務負担軽減を目的として、鳥取県でふるさと納税の受付業務の代行を行う。(資産活用推進課)

○交流人口の拡大

- ・インバウンド誘客多角化事業 40,000千円
来県する外国人観光客の多角化を推進し、本県のインバウンドの拡大を図るため、米子上海国際定期便の新規就航に伴う運行支援やプロモーション、県内の二次交通対策の実証実験、台湾・台中市で開催されるランタンフェスティバルでの魅力発信等を行う。(国際観光誘客課)
- ・アジアウォーキングフェスタ開催事業 3,700千円
アジアトレイルズネットワーク総会の倉吉開催に合わせて、国際ウォーキング大会を開催するとともに、ウォーキングによる地域創生をテーマとした国際フォーラムを実施する。(中部地域振興局中部振興課)
- ・駅前交流機能強化事業 40,000千円
中核的施設の全部又は一部を改修し、エリア全体の交流機能を高め、にぎわい創出や新たな需要獲得等につながる交流拠点(公共的空間)とするための経費の一部を助成する。(企業支援課)
- ・鳥取県立夢みなとタワー改修事業 25,164千円
夢みなとタワー内に、新たに物産店舗を民間委託するための内装改修を行う。(観光戦略課)

○その他

- ・ナラ枯れ対策事業 11,202千円
県中西部を中心に発生しているカシノナガキクイムシによるナラ類樹木の枯死被害の拡大防止のため、重点対策区域(大山山頂を中心とした10km範囲)を中心に、駆除を実施する。(森林づくり推進課)
- ・地下水等調査検討事業 4,637千円
淀江産業廃棄物最終処分場計画地において、その地下水の流向等を把握するため、有識者による調査会を開催し、現地踏査等による予備調査を実施する。(技術企画課)

- ・ 港湾事業（補助） 100,000千円
 鳥取港において、台風や大雨等で航路が埋没した際でも、西浜航路を緊急航路として大型船舶の航行を可能とするため、西浜航路にある防波堤の基礎部分を撤去する。 (空港港湾課)

- ・ 近未来技術を活用したひと・まち・しごと創生プロジェクト（近未来技術等社会実装事業）
 185,128千円（R2～3債務負担行為 216,186千円）
 工事管理等の効率化を目的として、先端技術を活用した道路インフラ維持管理システムや建設生産システムを構築するとともに、建設産業の担い手育成のため、高校生等を対象とした先端技術を活用した実習等を行う。 (技術企画課)

- ・ 県庁舎特定天井耐震対策事業 27,517千円（R1～2継続費 68,794千円）
 脱落によって重大な危害を生ずる恐れがある県議場の吊り天井の耐震対策を行う。 (総務課)

- ・ 消防防災ヘリコプター運航管理費（R2～6債務負担行為 864,587千円）
 消防防災ヘリコプターの機体の操縦、点検、運航管理等を委託し、安定した運航体制を確保する。 (消防防災航空センター)

- ・ 「日本一のすなば」魅力〇ごと事業（R2債務負担行為 6,000千円）
 鳥取砂丘の魅力を学んだり、西側エリアの活用の方向性である「学び、遊び、泊まり」に繋がる取組の実施に対して助成する。 (緑豊かな自然課)

○公共事業

503,425千円

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助事業（治山、港湾） ・ 単県事業（河川） ・ 災害公共（農業農村整備、林道、道路、港湾） | <p>126,818千円</p> <p>18,500千円</p> <p>358,107千円</p> |
|--|---|

（県産材・林産振興課、農地・水保全課、河川課、技術企画課、空港港湾課、治山砂防課）